

四半期報告書

(第50期第1四半期)

自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日

国際チャート株式会社

埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	4

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 株価の推移	7
3 役員の状況	7

第5 経理の状況

1 四半期財務諸表	
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月8日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）
【会社名】	国際チャート株式会社
【英訳名】	Kokusai Chart Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 勝部 泰弘
【本店の所在の場所】	埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地
【電話番号】	(048)728-8111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画センター長 伊藤 俊二
【最寄りの連絡場所】	埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地
【電話番号】	(048)728-8245
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画センター長 伊藤 俊二
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第1四半期 累計(会計)期間	第49期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高(千円)	854,185	3,196,394
経常利益(千円)	80,141	95,618
四半期(当期)純利益(千円)	79,637	23,634
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—
資本金(千円)	376,800	376,800
発行済株式総数(千株)	6,000	6,000
純資産額(千円)	1,924,536	1,897,585
総資産額(千円)	3,462,121	3,455,787
1株当たり純資産額(円)	320.76	316.27
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.27	3.94
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—
1株当たり配当額(円)	—	18
自己資本比率(%)	55.6	54.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	218,789	—
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△9,849	—
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△127,155	—
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	348,980	—
従業員数(人)	191	185

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社には関連会社が存在しないため記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第49期まで連結子会社であったKokusai Chart Corporation of Americaが平成20年1月に清算結となり、当企業集団における子会社がなくなりましたので、第50期より連結財務諸表を作成しておりません。

5. 第49期以前においては連結財務諸表を作成していたため、キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。よって、「営業活動によるキャッシュ・フロー」、「投資活動によるキャッシュ・フロー」、「財務活動によるキャッシュ・フロー」ならびに、「現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高」については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	191	（15）
---------	-----	------

（注）従業員数は、就業人員であり、臨時雇用者数は、当第1四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
計測事業（千円）	485,949
情報事業（千円）	226,365
自動認識その他事業（千円）	17,192
合計（千円）	729,506

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期会計期間の受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	受注高（千円）	受注残高（千円）
計測事業	603,443	76,830
情報事業	232,279	56,329
自動認識その他事業	17,546	7,470
合計	853,269	140,629

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
計測事業（千円）	607,697
情報事業（千円）	227,056
自動認識その他事業（千円）	19,432
合計（千円）	854,185

- (注) 1. 総販売実績に対する販売割合が10%以上の相手先はありません。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期会計期間は、2010年を目指す中期経営計画“Action-KC21”への重要な中間折り返し年度のスタートとなる四半期会計期間と認識し、社員一丸となって収益拡大に取り組んでまいりました。

過去2年間にわたる損益分岐点売上高を大幅に低減した経営体質をもとに、IT利用技術を駆使した販売戦略、情報事業においては大口JOB取り組みによる生産体制の改革（品質・納期・コスト）、今期の本格立ち上げに向けたFAラベル事業の育成に注力してまいりました。

計測事業はIT利用技術の浸透で業務を革新し、主力の記録紙も予想どおりに推移いたしました。また、海外販売につきましては、今秋にもインターネット上の海外向けサイトを本格稼働させる予定であります。

情報事業は原材料の値上がりと厳しい受注価格に対応するために、生産体制の改革、更なるコスト削減などの事業効率の改善を図り、顧客深耕、大口JOB獲得に取り組み、売上高が順調に拡大してまいりました。

自動認識その他事業は親会社の横河電機株式会社や販売代理店との一層の連携を図り、国内FA市場への強固な販売チャネルを活用して、FA用ラベル製品を中心に、序々にはありますが堅実に、今期の本格立ち上げのための事業構築を図っております。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は854百万円、営業利益は78百万円、経常利益は80百万円、四半期純利益は79百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、高効率経営を目指し継続的に実施している「損益分岐点売上高の低減」活動の全社取組みの結果、税引前四半期純利益80百万円の計上等により、218百万円のキャッシュを得ることが出来ました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、情報化投資を中心に投資活動を行った結果、9百万円のキャッシュの減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出80百万円、配当金の支払46百万円により、127百万円のキャッシュの減少となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ81百万円増加し、348百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期会計期間における研究開発活動の金額は、16百万円であります。

なお、当第1四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、前事業年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（千株）
普通株式	20,000
計	20,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数（千株） （平成20年6月30日）	提出日現在発行数（千株） （平成20年8月8日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,000	6,000	ジャスダック証券取引所	権利内容に何ら限定のない 当社における 標準となる株式
計	6,000	6,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 （千株）	発行済株式総数残高 （千株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増減額 （千円）	資本準備金残高 （千円）
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	—	6,000	—	376,800	—	195,260

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成20年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	—	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,999,800	59,998	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 200	—	同上
発行済株式総数	6,000,000	—	—
総株主の議決権	—	59,998	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

なお、単元未満株式に自己株式60株が含まれております。

②【自己株式等】

平成20年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高（円）	384	424	460
最低（円）	352	370	403

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有しておりませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,980	267,196
受取手形及び売掛金	660,729	703,893
商品及び製品	88,057	123,727
仕掛品	12,478	15,152
原材料	71,715	64,943
その他	82,186	56,610
貸倒引当金	△584	△493
流動資産合計	1,263,561	1,231,029
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,536,303	1,534,803
減価償却累計額	△903,445	△892,793
建物（純額）	632,857	642,009
構築物	115,508	115,508
減価償却累計額	△78,373	△77,671
構築物（純額）	37,134	37,836
機械及び装置	1,846,541	1,813,459
減価償却累計額	△1,591,184	△1,576,849
機械及び装置（純額）	255,357	236,610
車両運搬具	4,435	4,435
減価償却累計額	△4,237	△4,221
車両運搬具（純額）	198	214
工具、器具及び備品	322,443	322,443
減価償却累計額	△283,499	△279,643
工具、器具及び備品（純額）	38,943	42,799
土地	881,366	881,366
有形固定資産合計	1,845,857	1,840,837
無形固定資産		
ソフトウェア	118,772	137,893
その他	12,771	9,736
無形固定資産合計	131,543	147,629
投資その他の資産		
その他	222,712	237,844
貸倒引当金	△1,553	△1,553
投資その他の資産合計	221,159	236,291
固定資産合計	2,198,559	2,224,758
資産合計	3,462,121	3,455,787

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,817	407,187
短期借入金	120,000	120,000
関係会社短期借入金	—	50,319
未払法人税等	2,368	6,862
賞与引当金	—	41,131
役員賞与引当金	2,851	6,814
その他	259,685	151,708
流動負債合計	790,723	784,024
固定負債		
長期借入金	110,000	140,000
退職給付引当金	603,243	599,289
その他	33,617	34,888
固定負債合計	746,861	774,177
負債合計	1,537,585	1,558,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,800	376,800
資本剰余金	195,260	195,260
利益剰余金	1,351,106	1,325,469
自己株式	△29	△29
株主資本合計	1,923,137	1,897,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,399	86
評価・換算差額等合計	1,399	86
純資産合計	1,924,536	1,897,585
負債純資産合計	3,462,121	3,455,787

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	854,185
売上原価	514,711
売上総利益	339,473
販売費及び一般管理費	※ 261,046
営業利益	78,427
営業外収益	
受取配当金	162
為替差益	2,117
その他	825
営業外収益合計	3,105
営業外費用	
支払利息	987
その他	403
営業外費用合計	1,390
経常利益	80,141
税引前四半期純利益	80,141
法人税、住民税及び事業税	504
法人税等合計	504
四半期純利益	79,637

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	80,141
減価償却費	49,144
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	91
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41,131
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,962
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,954
受取利息及び受取配当金	△162
支払利息	987
売上債権の増減額 (△は増加)	42,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	31,572
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,369
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,518
その他	66,834
小計	221,516
利息及び配当金の受取額	162
利息の支払額	△901
法人税等の支払額	△1,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,162
無形固定資産の取得による支出	△4,496
投資有価証券の取得による支出	△29
その他	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,319
長期借入金の返済による支出	△30,000
配当金の支払額	△46,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81,784
現金及び現金同等物の期首残高	267,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 348,980

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) たな卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>これにより、売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ8,262千円減少しております。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準等の適用</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。</p> <p>また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p> <p>これによる損益への影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
固定資産の減価償却費の 算定方法	定率法を採用している資産については、 当第1四半期会計期間を含む事業年度に係 る減価償却費の額を期間按分して算定する 方法によっております。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)

該当事項はありません。

前事業年度末 (平成20年3月31日)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次の とおりであります。	
給料	99,565千円
従業員賞与手当	25,399千円
役員賞与引当金繰入額	1,589千円
退職給付費用	12,600千円
販売費に属する費用	……………約60%
一般管理費に属する費用	……………約40%

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対 照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)	
現金及び預金	348,980千円
現金及び現金同等物	348,980千円

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 6,000千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 0千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月20日 定時株主総会	普通株式	53,999	9	平成20年3月31日	平成20年6月23日	利益剰余金

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

当社はデリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

関連会社が存在しないため該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	320.76円	1株当たり純資産額	316.27円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	13.27円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(千円)	79,637
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	79,637
期中平均株式数(千株)	5,999

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期会計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

著しい変動が認められないため記載を省略しております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月7日

国際チャート株式会社

取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 菅原 邦彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 海老原 一郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 渡辺 雅子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている国際チャート株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第50期事業年度の第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、国際チャート株式会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。